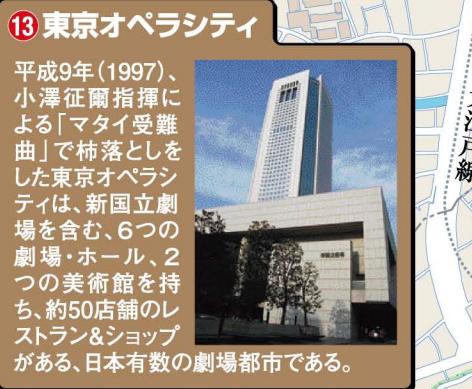


国道	JR線
その他の道路	私鉄線
首都高速	地下鉄線
旧甲州街道 (甲州道中)	都・県境界
旧街道ルート	区境
日本橋からの距離	公園・緑地



14 牛產地蔵

ここには昔刑場があり、牛裂きの刑が行われたとい。正徳元年(1710)、その靈を鎮めるために左手に宝珠、右手に錫杖を持つ地蔵が建てられた。地蔵とは、仏教で釈迦が入滅して65億7千万年後に弥勒菩薩が現れるまでの間、民衆を救うためにあると信じられている。その手前に、交通安全を願い、道自体を供養するという全国でも珍しい江戸時代の道供養塔が建っている。



12 新宿追分

慶長9年(1604)の甲州街道に続いて同11年に青梅街道が、現在の新宿三丁目交差点のところから分岐して定められた。青梅街道は青梅を通って甲府の東で甲州街道に合流している。内藤新宿が誕生する以前から、ここ追分にはいくつかの旅籠ができ内藤宿と呼ばれていた。そのため、新駅は内藤新宿、追分は新宿追分といわれるようになった。

